

ONWARD

Press

第79期 株主通信
2025.3.1—2026.2.28

23 





株式会社オンワードホールディングス
代表取締役社長 保元 道宣

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度連結会計期間(2025年3月1日から2026年2月28日まで)の事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、戦略強化ブランドを軸に商品・マーケティングを強化し、売上高を拡大いたしました。また、在庫管理の徹底や販管費の効率化により、全ての利益段階において増益を達成しております。

当社は、2021年に「ONWARD VISION 2030」を公表し、前半5年間は、コロナ禍の影響を受けながらも、構造改革と成長戦略を推進してまいりました。その結果、2025年度は売上高2,368億円となり、今後もファッション事業を中心に事業基盤を強化するとともに、海外事業の再編も進めてまいります。

この度、「ONWARD VISION 2030」の事業領域別計画(進捗および目標)を発表いたしました。2030年度には売上高3,000億円を目標に、ファッション2,000億円、ウェルネスおよびコーポレートデザインで1,000億円の売上構成を目標としております。戦略強化ブランドへ経営資源の集中や海外展開の強化、若年層顧客の拡大を通じて、持続的な成長を実現してまいります。引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当連結会計期間(2025年3月1日から2026年2月28日まで)の業績概況

当連結会計年度における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、緩やかな回復基調が続きました。一方、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続による消費者マインドの下振れなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。このような経営環境の中、当社グループは、戦略強化ブランドを中心に商品ラインナップやマーケティングを強化した結果、売上高は拡大いたしました。また、在庫管理の徹底や広告宣伝費等の販管費の効率化が奏功し、全段階利益において増益となりました。以上の結果、連結売上高は2,368億4百万円(前期比13.6%増)、連結営業利益は116億4百万円(前期比14.3%増)、連結経常利益は111億76百万円(前期比10.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は100億94百万円(前期比18.5%増)となりました。また、当社グループでは、新規事業の創出やM&A等を活用した事業基盤の強化・拡大による成長を加速していく中で、会計基準の差異にとらわれることなく企業比較を容易にすることを目的として、EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)を経営指標としています。なお、当連結会計年度のEBITDAは171億95百万円(前期比11.3%増)となりました。

売上高

2,368億円

前期比 +13.6%
+284億円

営業利益

116億円

前期比 +14.3%
+15億円

当期純利益

101億円

前期比 +18.5%
+16億円

EBITDA*

172億円

前期比 +11.3%
+17億円

* EBITDA=営業利益+減価償却費等

セグメント別概況

【国内事業】

中核事業会社の株式会社オンワード樫山や株式会社オンワードパーソナルスタイルにおいて、冬物衣料の販売が好調に推移し、増収となりました。特に、『23区』、『アンフィーロ』、『カシヤマ』、『チャコット・コスメティクス』、『WEGO』等の戦略強化ブランドが好調でした。以上の結果、国内事業の業績は増収増益となりました。



【海外事業】

ヨーロッパ地域は、英国ロンドン発祥のコンテンポラリーデザイナーズブランドであるJOSEPH事業が、Eコマース売上の伸長により増収となりましたが、人的投資や販売促進にかかる費用が先行したことから、減益となりました。アメリカ地域は、前連結会計年度末に米国グアムにおけるゴルフ事業会社の株式譲渡をおこなった影響により減収となりましたが、トラディショナルブランドであるJ.PRESS事業のEコマース売上を中心とした売上の伸長等により、収益性は改善しました。アジア地域は、オーダーメイドスーツの生産受注の増加に伴い大連工場の稼働率が向上し、売上高が拡大しました。以上の結果、海外事業の業績は増収となりました。



2026年度(2026年3月1日から2027年2月28日まで)の業績予想

2026年度は、国内事業では、成長戦略の柱として、ファッション領域の5事業(『23区』、『J.PRESS』、『カシヤマ』、『アンフィーロ』、『WEGO』)、ウェルネス領域の3事業(「コスメ」, 「ギフト」, 「キャラクター・ペット」) およびコーポレートデザイン領域に経営資源を集中し、海外事業では、アメリカ事業の営業黒字化を実現し、ヨーロッパ事業、アジア事業と並び、全エリアでの営業黒字化を達成する見込みです。その結果、2026年度業績は、売上高は前期比4.3%増の2,470億円、営業利益は同10.3%増の128億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同10.9%増の112億円の増収増益となる見通しです。また、EBITDAは同9.3%増の188億円を見込んでおります。

売上高	営業利益	当期純利益	EBITDA [※]
2,470 億円	128 億円	112 億円	188 億円
前期比 +4.3% +102億円	前期比 +10.3% +12億円	前期比 +10.9% +11億円	前期比 +9.3% +16億円

※ EBITDA=営業利益+減価償却費等

トピックス①

AI時代だからこそ人にしかできない体験価値を生み出す場 「SALON 23区 AOYAMA」オープン！

株式会社オンワード樫山のレディスブランド『23区』は3月25日(水)、東京・青山にフラッグシップストア「SALON 23区 AOYAMA」をオープンいたしました。

オンワードグループ創業100年目の記念すべき年に、AI時代だからこそ人にしかできない体験価値を提供する新たな店舗として誕生。『23区』のフルラインナップに加え、国内外から厳選したバイイング商品、上質な空間、きめ細やかなサービスを融合し、新たなブランド体験を提供いたします。

ブランドアンバサダーの見上 愛さんが出演する最新ブランドムービー「AIと愛」も2月に公開。

『23区』はこれまでの歩みを大切にしながらも革新を続け、お客さまとともに成長するブランドとして、更なる発展を目指してまいります。



SALON 23区 AOYAMA
東京都港区南青山3-8-35 表参道 Grid Tower 1F



SALON 23区 AOYAMA

<https://23ku-web.jp/pages/salon-23ku>



23区公式ブランドサイト

<https://23ku-web.jp>



トピックス②

オーダーメイドブランド『KASHIYAMA』の 事業拡大に向けた新たな展開

株式会社オンワードパーソナルスタイルは、2025年10月に、ビジネスから休日まで幅広いライフスタイルに対応する新業態店舗「カシヤマ」をスタートいたしました。ショッピングセンターを中心に开店し、オーダーメイドの『KASHIYAMA』に加えオンワードグループの幅広いアイテムをワンストップで提案。親しみやすいショップの展開を目指し、顧客基盤の拡大を図っています。

また、2026年3月にはプレミアムライン「KASHIYAMA PREMIUM」MENをローンチし、全国の百貨店26店舗で販売を開始しました。世界屈指のインポート生地と熟練職人による国内縫製により、最短12日納期を実現。至高のスタイルを提供します。

さらに、女性向けプレミアムライン「KASHIYAMA PREMIUM」WOMENを伊勢丹新宿店ファインクローズと共創し、短納期・高品質という強みに加え、伊勢丹新宿店が蓄積した約1.5万人分の計測データ、お客さまや店頭スタイリストの声等を掛け合わせ、新しいオーダースーツを提案してまいります。



KASHIYAMA 公式サイト

<https://kashiyama1927.jp>



KASHIYAMA PREMIUM MEN 公式サイト

<https://kashiyama1927.jp/premium/men/>



KASHIYAMA PREMIUM WOMEN 公式サイト

<https://kashiyama1927.jp/premium/women/>



カシヤマ イオンモール福岡店

「ONWARD VISION 2030」事業領域別計画（進捗および目標）の概要

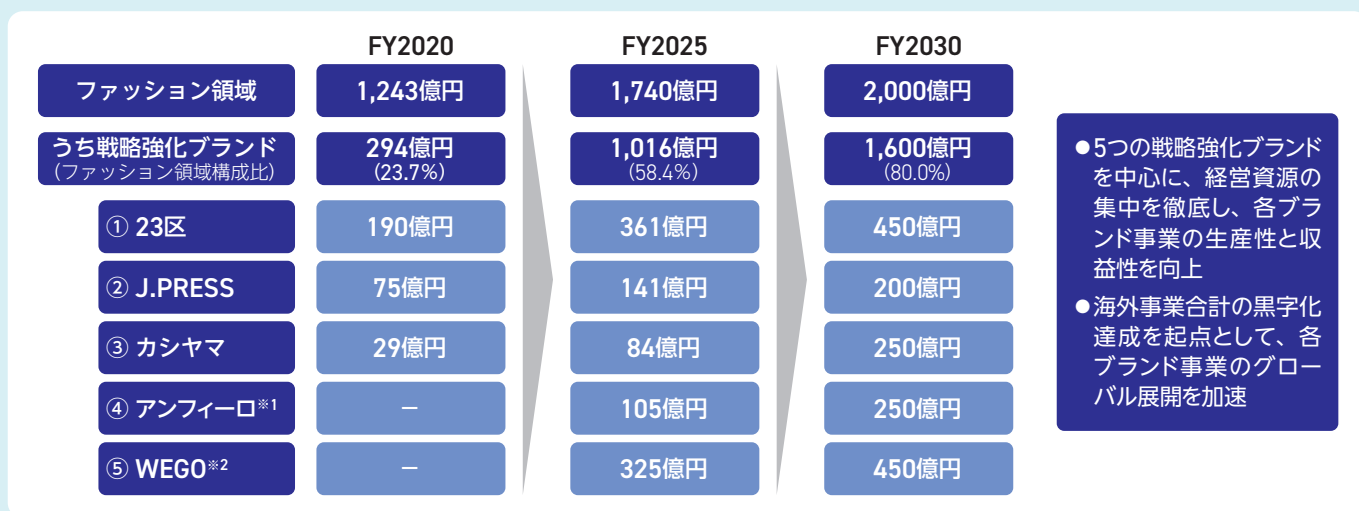
2021年4月に公表した『ONWARD VISION 2030』は、2030年度の目標達成に向け2026年度に折り返し地点を迎えました。

2020年度はコロナ禍により売上が大きく縮小する厳しいスタートとなりましたが、その後の5年間で構造改革と成長戦略を着実に推進し、事業基盤の再構築を進めてまいりました。2030年度には売上高3,000億円を目標に、ファッション領域は2,000億円規模へ拡大するとともに、収益性の高いウェルネス領域・コーポレートデザイン領域の比重拡大を図ります。



事業領域の変遷（ファッション領域）

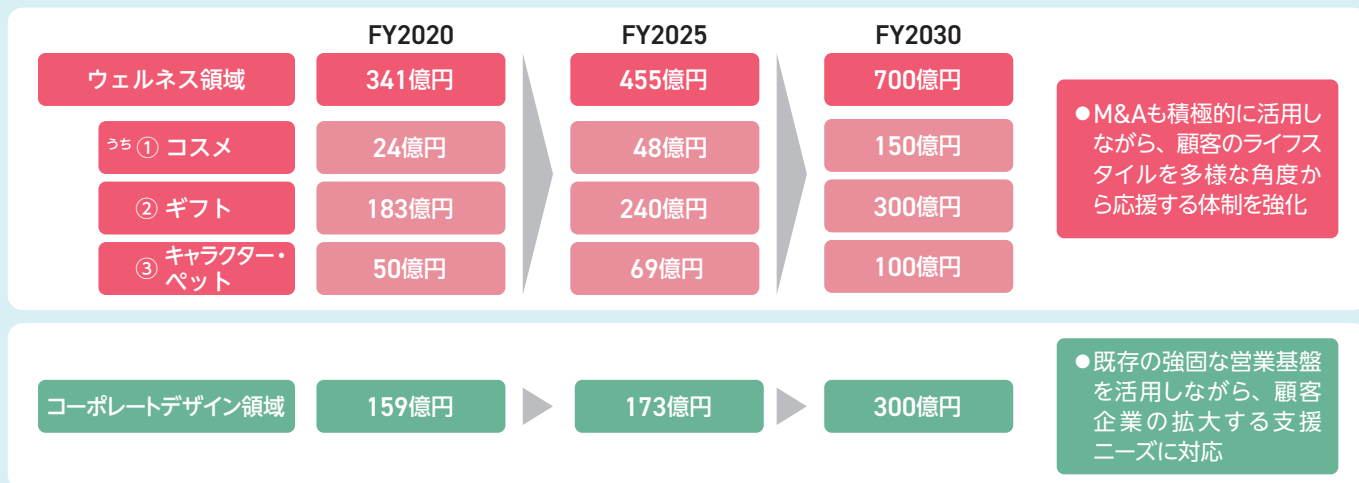
ファッション領域においては、『J.PRESS』、『J.23区』、『カシヤマ』、『アンフィーロ』、『WEGO』の5ブランドを戦略強化ブランドに位置づけ、更なる成長と利益率の向上を目指します。また、特に『J.PRESS』の米国事業および『WEGO』のアジア事業を軸にグローバル展開を加速いたします。



※1 2021年秋より販売を開始
 ※2 2024年10月より連結子会社化

事業領域の変遷（ウェルネス領域・コーポレートデザイン領域）

ウェルネス領域は、顧客のライフスタイルを多様な角度から応援する体制を強化し、高い収益性を維持しながら更なる拡大を目指します。コーポレートデザイン領域は、既存の営業基盤を活用しながら、スペースクリエイティブ事業等、顧客企業の拡大するニーズに対応してまいります。



(注) 一部事業会社の売上数値はグループ会社間取引の相殺消去後の数値であり、『決算説明資料 主要事業会社別実績』と数字が異なる

詳しくは当社ホームページ、中長期経営ビジョン「ONWARD VISION 2030」をご覧ください。
<https://www.onward-hd.co.jp/ir/management/vision.html>



株主還元

株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要施策の一つと位置づけ、配当性向の目安を通期で40%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施することを基本方針としています。2025年度の間中間配当金は1株当たり14円を実施し、期末配当金は1株当たり16円、年間配当金は1株当たり30円を実施いたします。2026年度につきましては、上記の方針に基づき、中間配当金を1株当たり16円、期末配当金を1株当たり17円、年間配当金は1株当たり33円を予想しております。

		2026年度 予想	2025年度	2024年度 実績
1株当たり配当金	中間	16円	14円	—
	期末	17円	16円	26円
	合計	33円	30円	26円
配当金総額(百万円)		4,488	4,080	3,529
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)		11,200	10,094	8,516
配当性向		40.1%	40.4%	41.4%

株主優待のご案内

単元株以上保有の株主さまには「オンワード・クローゼット」の商品を20%引きで6回ご購入いただける「買物割引クーポン」を1枚進呈いたします。

詳細は「買物割引クーポン」の券面をご覧ください。

買物割引クーポン→



公式通販サイト
オンワード・クローゼット
<https://crosset.onward.co.jp/>



QRコードからアクセスし、
ぜひご利用ください。

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。 <https://www.denso-wave.com/ja/system/qr/>

ホームページのご案内

投資家情報

<https://www.onward-hd.co.jp/ir/>



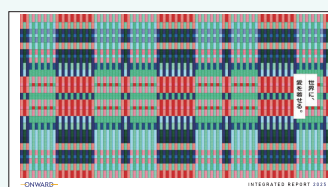
サステナビリティ

<https://www.onward-hd.co.jp/sustainability/>



統合報告書

https://www.onward-hd.co.jp/ir/library/annual_report.html



IR メール配信登録

最新IR情報、ニュースリリース等
等をメールでお届けします

<https://www.magicalir.net/8016/mail/index.php>



株主通信郵送の廃止について

当社は、これまで株主の皆さまへ年2回株主通信をご送付しておりましたが、環境負荷低減の観点から、第80期(2027年2月期)をもって紙面による株主通信の発送を終了し、ホームページへの掲載のみとさせていただきます。